

# 北上川上流流域下水道「**玉山幹線管渠築造工事**」が完成！

～ 快適づくり環境まもるいきいきりゅういき下水道 ～

## 北上川上流流域下水道事務所

県が平成7年度から整備を進めてきた北上川上流流域下水道事業の「玉山幹線管渠築造工事」が平成21年度に完成しました。今回の完成により、盛岡市が整備を進めてきた盛岡市玉山区好摩地区の下水道が供用を開始し、3,210人の下水道使用（水洗化）が可能となりました。また、芋田地区についても、現在、盛岡市が整備を進めており、平成22年度末に一部供用開始する予定となっています。

「玉山幹線管渠築造工事」の特徴は、管渠延長が約24kmと長く、下流から順に工事を行うと上流の玉山区内の供用開始まで10年以上かかることから、玉山区下田地区に舟田フレックスプラント（暫定処理場）を建設し、主に玉山区渋民地区の汚水処理を行うことで、早期の事業効果の発現を図ったことです。

今回、管渠が完成したことにより、フレックスプラント（暫定処理場）は舟田ポンプ場への切り替えを行い、その役目を終えました。なお、切り替えにより、玉山区内の汚水は管渠内を流下し、盛岡市東見前地内の都南浄化センターで処理されます。

水洗化により、衛生的で快適な生活環境の実現と良好な水循環の保全を図ることができます。下水道使用が可能な区域の皆様の積極的な下水道への接続をお願いします。

### 【事業概要】

計画延長：23,880m 全体計画人口：34,670人  
事業期間：平成7年度～平成21年度  
工事費：約148億円  
主な施設：管渠（直径1.2m～0.2m）  
フレックスプラント1箇所、ポンプ場3箇所

供用開始した柴沢ポンプ場



役目を終えた舟田フレックスプラント



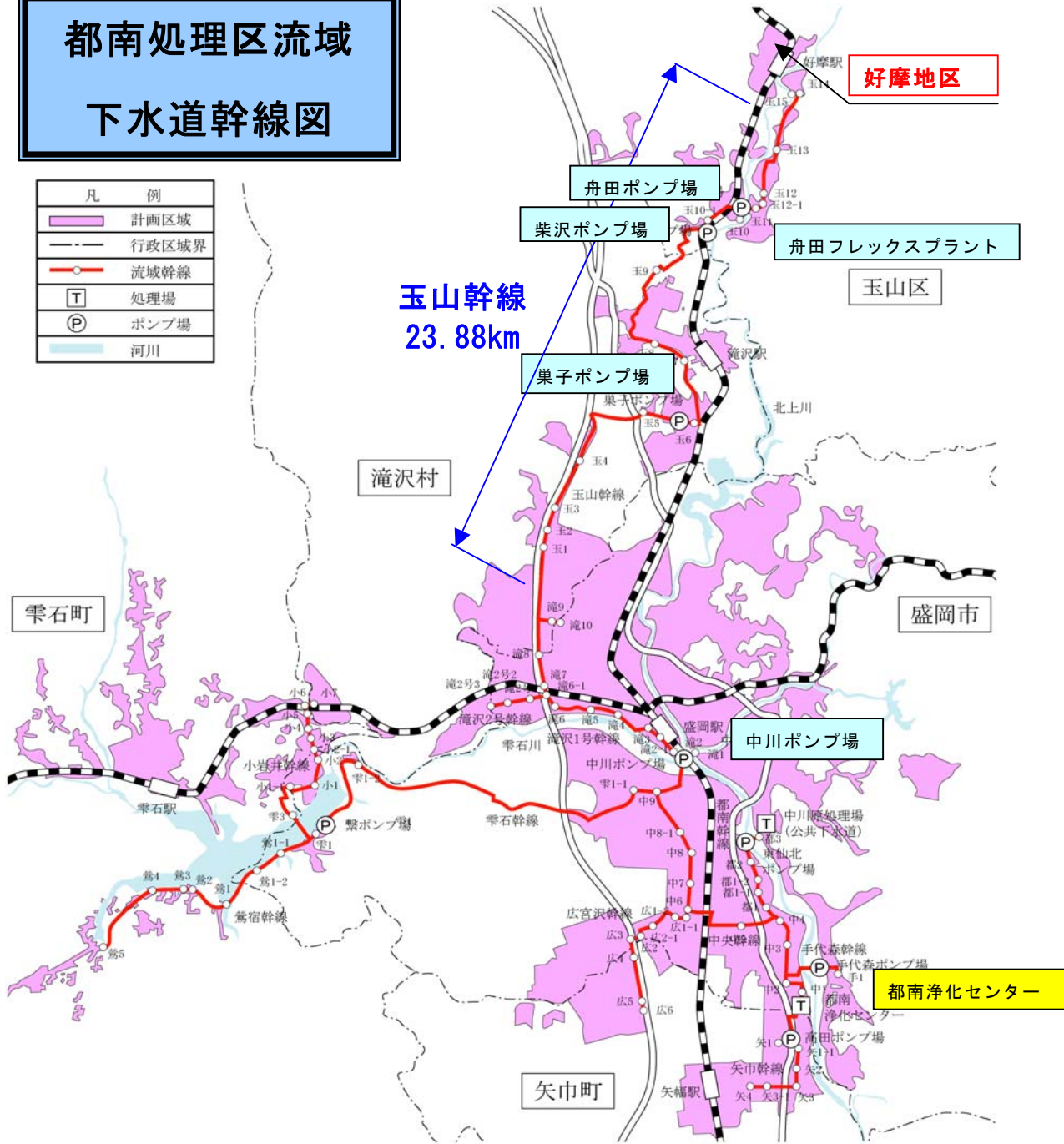
供用開始した舟田ポンプ場



**流域下水道とは、市町村が整備する流域関連下水道から排除される下水を、市町村の行政区域を越えて、排除・処理する下水道の根幹的施設です。原則として、県が設置し、管理することになっています。**

都南処理区流域  
下水道幹線図

凡	例
	計画区域
	行政区域界
	流域幹線
	処理場
	ポンプ場
	河川



一般的に、下水道管渠の大部分は自然流下方式ですが、玉山幹線では、滝沢村巣子地区、玉山区柴沢地区、玉山区下田地区の3箇所に汚水中継ポンプ場を、玉山区芋田地区の2箇所のマンホールポンプ(汚水中継ポンプ場 비해流量が少ない)を設置しています。

玉山幹線の模式図

